



---

## ラピッド RAM ディスク (RRD)

ネットツール株式会社

---

このファイルには ラピッド RAM ディスク(以下、RRD と記載します。) についての簡単なセットアップ方法と、最新の情報が記載されています。

このファイルを最後まで読んで、RRD 各プログラムや、データ、マニュアルについての最新の情報を確認してください。

このファイルは、次の内容で構成されています。

1. RRD のインストール
2. 簡単セットアップ方法概要
3. ライセンスの購入方法
4. プログラムの認証(アクティベーション)方法
5. その他
6. リリースノート

---

### 1. RRD のインストール

---

RRD は、PC やサーバー パフォーマンス のダウン主原因である、ハードディスクや SSD に対するアクセス回数を大きく減少させ、処理速度を著しく改善させます。

RRD 体験版のインストールは簡単です。ダウンロードしたファイル、または、ダウンロードファイルを解凍した中に含まれる実行形式ファイル(EXE)を自動して下さい。

メッセージに従ってインストールを完了して下さい。インストールは数分で完了します。

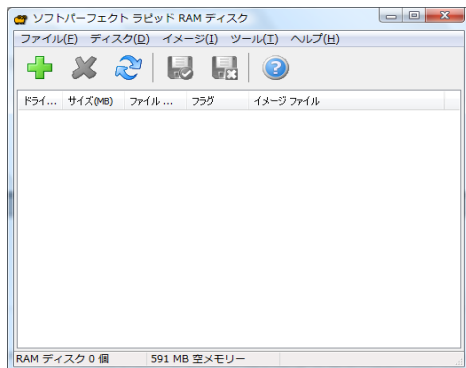
(ご使用中のセキュリティー用ソフトウェアから、ワーニング等のメッセージが表示されることがありますが、本ソフトウェアには悪意や危険のある内容は一切含まれておりません。安心してお試し下さい。実行できない場合はセキュリティー用ソフトウェアの設定内容を変更してご使用下さい。)

また、セットアップ詳細については、RRD “ヘルプ”メニューから”ユーザーガイド”を選択し併せてご参照下さい。

---

## 2. 簡単セットアップ方法概要

---



RRD のインストールが完了すると、メイン(初期)画面が表示されます。また、RRD を終了しても、通常はタスクバーにアイコン(羊のアイコン)が残り、このアイコンをクリックすると、メイン画面が表示されます。自動的に表示されない場合は

プログラム一覧から実行して下さい。

### \* RAM ディスクの作成

RAM ディスクの作成方法は大きく分けて 2 種類の RAM ディスクを作成する方法があります。

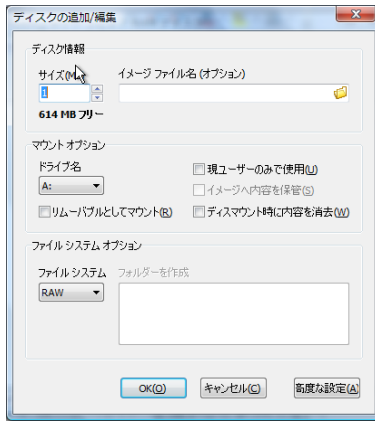
1 つ目は、単にマシンの RAM 上に RAM ディスクのみを作成し、マシンの再起動時は毎回この内容がクリアされ、また新規に RAM ディスクを作成する方法です。これは主に、Windows やアプリケーションのワークファイル (TEMP /TMP )等をディスク上に作成するかわりに RAM ディスク上に作成して運用する場合に使用します。

2 つ目は、ハードディスク上にイメージファイルを作成し、RAM ディスク上のデータ内容を、マシンのシャットダウン時にこのハードディスク上のイメージファイルへバックアップ、そして マシンのスタート時にこのイメージファイル上のデータを RAM ディスク上にリストアさせます。これは定義しておくだけで自動的に実行されるので、重要なデータを RAM ディスクで運用する場合も安心して使用することができます。

### \* RAM ディスク作成方法

RRD メイン画面、“ディスク”メニューから、“追加”、または、“ブートディスクを追加”のどちらかを選択します。“追加”を選択する場合は、USB フラッシュメモリ等のように、リムーバブルディスクのようなイメージで RAM ディスクを作成でき、ユーザーのログイン時に RAM ディスクを作成します。これに対して “ブートディスクを追加”を選択する場合は、ブート時にディスクを作成し、リサイクル(ごみ箱)の使用やボリューム情報等のシステム情報が記載されるファイルが作成されます。

選択すると以下の画面が表示されます。各種項目を入力(選択)し OK ボタンを選択すると RAM ディスクが作成されます。内容の詳細は、RRD “ヘルプ”メニューから“ユーザーガイド”を選択しご参照下さい。



<ディスクの追加設定画面>

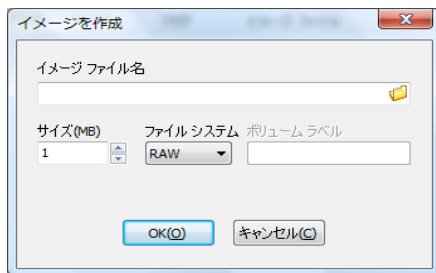
RAM ディスクにイメージファイルを対応させて運用する場合は、上記画面上でイメージファイルを指定します。(イメージファイルは RAM ディスク作成前に作成しておく必要があります。次項をご参照下さい。)

また、ファイルシステムには、RAW、FAT、FAT32、NTFS の 4 種類を選択して作成することができます。(イメージファイルも同様のフォーマットを選択することができます。)RAW フォーマットとは、独自のフォーマットでディスク内容をそのままの形式で書き込んでいます。RAM ディスク上のデータ内容がマニュアルでも確認できるように、NTFS、または FAT32 を使用されることをご推奨します。

<OK ボタンを選択後、ディスク作成時に、ディスクをフォーマットするため多少時間がかかる場合があります。>

#### \* イメージファイル作成方法

イメージファイルはハードディスク上に独立したエリア(ファイル)を作成し、通常は、このイメージファイルと RAM ディスクとを 1 対 1 に対応させて、マシンのシャットダウン時に RAM ディスク上のデータ内容をこのイメージファイルへバックアップし、起動時にはイメージファイル上にバックアップしていたデータ内容を RAM ディスク上にリストアし、RAM ディスクを継続的に安全に運用するために使用されます。また、イメージファイルにドライブ名を設定し、1 つの独立したドライブとしてイメージファイルだけを使用することもできます。



<イメージファイル作成画面>

RRD メイン画面 “イメージ”メニューから”イメージを作成”を選択すると、上記の画面が表示されます。この画面内に必要な内容を入力し、OK ボタンをクリックするとイメージファイルが作成されます。RAM ディスク同様にファイルシステムでファイルのフォーマットを選択します。内容をマニュアルで確認できるように、NTFS か FAT32 を選択されることをご推奨します。内容の詳細は、RRD “ヘルプ”メニューから”ユーザーガイド”を選択しご参照下さい。

<OK ボタン選択後、ディスク作成時にディスクのフォーマットに多少時間がかかる場合があります。>

ディスク作成が完了したら、RAM ディスクにこのイメージファイルを対応させる場合は、そのまま上記に記載した方法で RAM ディスクを作成して下さい。(作成したイメージディスクを RAM ディスク作成画面内で指定します。)

そのままイメージディスクにドライブ名を定義して使用する場合は、RRD メイン画面内 “イメージ”メニューから “イメージをマウント”を選択しドライブ名を定義して使用します。

---

### 3. ライセンスの購入方法

---

RRD 体験版は、30 日間、無償で使用することができます。試用期間はシステム起動時にいままでの試用日数と残りの日数を表示する画面が現れます。（“ヘルプ”メニューから “本製品について”でもご確認いただけます。）



<試用期間を知らせる画面>

試用を継続する場合は、“試用を継続する”ボタン を、ライセンスをご購入する場合は、“購入”ボタンを、ライセンスをご購入後、取得したライセンスキーを登録する場合は、“コードを入力”を選択します。

正規ライセンスをご購入いただき、ライセンスキーを体験版へ入力していただくだけで、試用期間制限が解除され、体験版がそのまま正規製品になります。ライセンスのご購入は、RRD メイン画面 ヘルプメニューからライセンス購入を選択して下さい。ライセンスを購入できるサイトへリンクします。（インターネット接続が必要です。）

所定の手続きが完了すると、弊社から Email でライセンスキーの取得、入力方法をご案内いたします。Email が到着するまで少しお待ち下さい。

ライセンスは、通常のクライアント用ライセンスと サーバー用ライセンスの 2 種類をご用意しています。Windows サーバーで RRD を使用される場合はサーバー用ライセンスをご購入下さい。

\* クライアント用ライセンス ==>> For Windows10 / 8.x / 7 / Vista (32 / 64bit)

\* サーバー用ライセンス ==>> For Windows サーバー 2003/2008/2012/2016

---

### 4. プログラムの認証(アクティベーション)方法

---

上記でライセンスを購入すると、ライセンスキーの取得、登録方法が含まれる Email がお客様宛に届きます。（Email アドレスはライセンスご購入時に入力していただきます。）

ライセンスキーの取得、登録方法は以下をご参照下さい。（“ライセンス認証について”をご参照下さい。）

[http://www.nettool.co.jp/ssd\\_s1.html](http://www.nettool.co.jp/ssd_s1.html)

サイレントインストールによるインストールを実行する場合は、他の方法をご用意しております。

別途お問い合わせ下さい。

---

## 5. その他

---

RRD は、ツールメニューでいくつかのオプション機能をご用意しています。例えば、Windows システムが使用するワークファイル(TEMP / TMP ファイル) をハードディスク上から RAM ディスク上へ置き換えるだけでも処理速度が大きく向上する場合があります。オプション内容をご確認の上、お試しください。

RRD はバージョンによって、ユーザーインターフェースが変更されている事があります。ご了承下さい。

RRD は Windows クライアント用およびサーバー用の 2 種類があります。

また、サイトライセンスやコーポレートライセンス、OEM 用ソフトウェアもご用意しています。

お気軽にお問い合わせ下さい。

---

## 6. リリースノート

---

本ソフトウェアは ラピッド RAM ディスク v 4.x.x です。



ネットツール株式会社

お問い合わせ先: [inq@nettool.co.jp](mailto:inq@nettool.co.jp)

<http://www.nettool.co.jp/>